

# 保全業務(緊急修繕工事)からの課題点・留意点の提案

(財)福岡市施設整備公社

提案事項 早期の錆処理対策

提案日 平成24年 月

ベランダ鉄骨手すり部



錆処理手当てが遅くなれば、鉄骨手すり自体に錆欠損穴部が生じたり、部材の肉厚が薄くなり安全上取り替えが必要となります。

縦樋掴み金物(鋳鉄製)



掴み金物が錆により破損し、縦樋を支持できなくなり危険です。  
(現在は新設時にステンレス素材とすることから、このような問題は少なくなっています。)

※ 早期発見、早期手当て(錆び止め塗装)補修工事を実施すれば、低額の修繕予算で、維持管理が行えます。

※ 錆の手当てが遅ければ、手すりにもたれた時に手すりの脱落等の危険性があります。

※ 鉄製部品に錆が出だしたら調査が必要です。



- ・ 掴み金物(鋳鉄製)の錆による破損
- ・ 消火器ボックス(鉄製)の錆による破損(底板が抜ける危険性があります。)